広島県建設分野の革新技術活用制度　《2026年4月10日時点》　様式A

技術名称：超耐シーラーTF2000

申請者名：オート化学工業株式会社

技術部門：長寿命化　部門	登録区分	区分３：活用促進技術	区分２：試行段階技術	区分１：開発・改良支援技術

■技術概要・ポイント（写真・図面等を適宜貼付）

本技術は、高耐候性1成分形ポリウレタン系シーリング材で、従来は、汎用樹脂2成分形ポリウレタン系シーリング材で対応していた。本技術の活用により、紫外線劣化を起こしにくくなるため、耐候性の向上、シーリング材の寿命向上による経済性の向上が図れる。
また、シーリング材の伸び率向上により、被着体への追従性や耐久性が図れる。
１成分形であり、現場での撹拌作業が不要となるため、省力化による施工性の向上、工程の短縮が図れる。
・高耐候性1成分形ポリウレタン系シーリング材である。
・湿気硬化型シーリング材です。
・中モジュラス・高伸縮タイプである。



■適用条件等（自然条件・現場条件等の活用上の留意点）

適用事業：(1.)道路　(2.)河川　3.ダム　4.砂防　5.港湾　6.海岸　(7.)上水道　(8.)下水道　9.公園　(10.)その他　11.全般

コンクリート構造物目地に適用。従来技術と同様な条件で使用可能。
【適用工事】
・道路工事（橋梁コンクリート高欄目地、橋脚耐震補強コンクリート巻立目地、橋梁フラップ目地、橋梁伸縮装置部地覆目地、高欄歩道下部目地止め等）
・上下水道工事（PCコンクリート擁壁目地、コンクリートPコン穴防水等）
・用水路工事（V型トラフ用水路目地、コンクリート用水路目地、ボックスカルバート目地等）
・建築（PCコンクリート目地等）　など
【適用可能な範囲】
・シーリング目地形状が幅10㎜以上50㎜以内、深さ10㎜以上30㎜以内の目地（目地幅1に対し目地深さ1～1/2の範囲が望ましい）。
・目地幅の変動が20%以下の目地。
【適用できない範囲】
・コンクリート構造物の目地以外。
・シーリング目地形状が幅10㎜未満及び50㎜を超える場合、深さが10㎜未満及び30㎜を超える場合。
・目地幅の変動が20%を超えている場合。

■技術の成立性

促進耐候性試験において、従来の技術では1000時間（5年相当）でシーリング材表面にクラックが確認されたが、新技術では4000時間（20年相当）経過後もシーリング材表面にクラックが確認されない。

■公共事業における施工・活用方法

これまでの各種土木コンクリート構造物目地に使用されているシーリング材は、耐用年数が5年程度で短いという課題があった。新技術では高耐候・高伸縮性樹脂の採用と流出成分の非配合により、耐用年数が20年相当の耐候性・耐久性が期待できる。

開発体制等	(1.)単独　2.共同研究（民民）　3.共同研究（官民）　4.共同研究（民学）
	開発会社：オート化学工業株式会社　販売会社：　協会：

副部門（副次的効果）：ー　部門

技術名称：超耐シーラーTF2000

申請者名：オート化学工業株式会社

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）　※従来技術名（汎用樹脂2成分形ポリウレタン系シーリング材）

項目	活用の効果			発現する効果	
				申請技術	従来技術
経済性	向上（57 %）	同程度	低下（ %）	現場での攪拌作業が不要となるため、イニシャルコストが低減する。耐用年数が20年相当で紫外線劣化を起こしにくくなるため、ランニングコストが低減する。	現場で攪拌が必要 耐用年数が5年程度
工　程	短縮（20 %）	同程度	増加（ %）	現場で攪拌が不要	現場で攪拌が必要
品質・出来形	向上	同程度	低下	紫外線劣化を起こしにくくなる 経時での物性変化が少なくなる 攪拌不足が無くなる	紫外線劣化を起こしやすい 経時での物性変化が大きい 攪拌不足が起こる可能性がある
安全性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
施工性	向上	同程度	低下	現場で攪拌が不要	現場で攪拌が必要
環　境	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
維持管理性	向上	同程度	低下	耐用年数が20年相当のため維持管理にかかるコストを低減できる	耐用年数が5年程度
その他	向上	同程度	低下	該当なし	該当なし

技術名称：超耐シーラーTF2000

申請者名：オート化学工業株式会社

■活用実績

発注者	県内件数	県外件数
広島県	0 件	—
その他公共機関	2 件	18 件
民間等	0 件	3 件

発注者	年度	公共工事名（事業名）
愛媛県	R8	道長第4号の4（国）317号他橋りょう補修工事
香川県	R7	県営満濃池幹線2期地区豊原幹線水路その3工事
香川県	R7	水利施設等保全高度化事業 簡易整備型 前池導水路地区水路補修工事
愛媛県	R7	道長第4号の5（国）317号 橋りょう補修工事
山口県	R7	令和6年度 一般県道嵩山久賀港線(山田橋ほか)橋梁(長寿命化メンテ修繕)工事 第1工区
西日本高速道路株式会社	R7	中国自動車道(特定更新等)椹野川橋他2橋床版取替工事(その2)
山口県	R7	農村地域防災減災事業（地域防災機能増進事業）長門大津地区橋梁耐震補強工事1号
山口県	R7	令和6年度一般国道489号(才谷B橋2)橋梁(長寿命化メンテ 修繕)補正工事第1工区
岡山県	R7	大井手第二地区水路改修工事
中国地方整備局	R6	広島空港滑走路端安全区域用地造成等工事（その3）
三次市	R6	市道宗祐線（宗祐高架橋）橋梁整備工事

■国土交通省（NETIS）への登録状況

申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
関東地方整備局	2019年11月26日	KT-190076-VE	事後評価済み

■建設技術審査証明の発行状況

発行機関名	証明書発行年月日	証明書番号
なし		

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

ARIC　NNTD登録番号1438
JIS A 5758 F-25HM-8020（PU-1）認証番号：CE0308034

■知的財産等

特許・実用新案		番　号
特許	1. あり　2. 出願中　3. 出願予定　(4.) なし	
実用新案	1. あり　2. 出願中　3. 出願予定　(4.) なし	

■当該技術の課題と今後の改良予定

なし